

# 受賞おめでとうございます

## 令和5年度 自治会加入促進作品 入賞者

小学生から高齢の方まで、地域への思いが込められた作品が多く寄せられました。ご応募ありがとうございました。

### ポスターの部

**最優秀賞** 松尾 知寿美 (亀阜校区)  
**優秀賞** 加藤 結莉 (香西地区)  
 安藤 杏乃 (古高松地区)

### 標語の部

**最優秀賞** 黒河 日菜 (多肥地区)  
**優秀賞** 濱中 一穂 (新塩屋町地区)  
 じいーじ\* (栗林校区)  
 shironekoさん\*(木太地区)  
 野郷 光宏 (多肥地区)  
 野網 則子 (円座校区)  
 (敬称略、\*はペンネーム)



## 令和5年度 高松市長感謝状及び 一般社団法人高松市コミュニティ連合会表彰状贈呈式

多年にわたり地域活動に携わり、その功績が顕著な個人64名と2団体に対して、令和6年2月16日に感謝状及び表彰状が贈呈されました。

受賞されました皆様におかれましては、誠にありがとうございます。今後とも、地域のリーダーとして更なるご活躍をご祈念申し上げます。



## 令和5年度 全国公民館インターネット活用コンクール

インターネットを活用して事業を展開する等、優秀な活動をしている公民館及びコミュニティセンターが、全国公民館連合会から表彰されました。

**特別賞**  
太田南地区コミュニティ協議会

ホームページ  
はこちら



# コミねつと

高松  
たかまつ Vol.13  
令和6年4月1日発行



# コミフェス2023 開催

たくさんのコミキャラと一緒に、  
コミフェス2023の応援に  
行ってきたよ。たくさんの  
おともだちと会えて楽しかったよ。  
コミキャラ1位うれしー!

たかまつコミキャラ  
頂上決戦2023

1位 **ゴンタくん**  
(太田南地区コミュニティ協議会)



## たいせつな自治会

地震・風水害など大きな災害が起こったとき、人はひとりでは対応できません。自治会では、いざという時に助け合えるよう、日頃から防災訓練や交流活動を行い、地域のひととひとのつながりを大切にしています。自治会は防犯灯の管理のほか、登下校時の子どもの見守りや防犯パトロールにも関わっています。ご近所の人と顔見知りになっておくことは、犯罪から身を守るためにも大切です。

### 登下校の見守り

安心して学校に行けるね。



### 防犯灯

暗い夜道を明るく照らしてくれて安心だね。



### 防災訓練

訓練で、もしもの時に備えよう。



### 清掃活動

きれいになると気持ちいいね!



### お祭り

たくさんの人と顔見知りになったよ。



# コミフェス2023 開催しました。

「地域コミュニティ協議会ってなに?自治会ってなに?」というみなさまに、もっと地域活動を身近に感じていただこうと、11月3日に高松市仏生山交流センター(ふらっと仏生山)で「コミフェス2023」を開催しました。

「コミフェス2023」にあわせて、地域で活躍するキャラクターの人気投票「たかまつコミキャラ頂上決戦」が初めて行われ、太田南地区コミュニティ協議会の「ゴンタくん」が見事1位に輝きました。ゴンタくんには、ことでの「ことちゃん」とのコラボ券が贈られ、太田南地区の地域活動に、ことちゃんが特別出演してくれることとなりました。

ステージでは、令和5年夏に募集した自治会加入促進のポスター・標語作品の入賞者表彰式も行われ、会場に掲示した入賞作品を、多くの方にご覧いただきました。

また、ことでん電車まつりとのコラボ企画として、展示車両の2両をまるごと中吊り広告風の地域活動紹介パネルで埋め尽くしました。

同会場で開催した縁日コーナーや地域グッズの物販コーナーにも、多くの方々に訪れていただき、大変にぎわった1日となりました。



# みんなで地域を守る

「大切な人の命を地域一体となってみんなで守る」ため防災・防犯・交通安全などの地域活動に、ぜひ皆さまも気軽に参加いただき、地域の安全を共に築き上げましょう。



## 前田 校区

### 自治会長も青パト参加

前田校区では青色回転灯を装着している車が計11台あり、34自治会の単位自治会長も当番制で、青色防犯パトロール（以下「青パト」という）の活動に取り組んでいます。

毎月20日の夜、前田安全パトロール隊の車に乗車し、コミュニティセンターを出発します。住民の防犯意識向上を図るとともに、防犯灯の点灯確認も兼ねて夜間のパトロールを実施しています。

また、青パトは児童の登下校時の見守りも行っています。小学生が、まち体験でコミュニティセンターを訪れた際には、青パトが犯罪を未然に防ぐために活動し、みんなを守っていることを伝えています。

平成24年に発足して以来、前田校区の安全を守り続けている青パトの活動を、今後も絶やすことなく継続していきたいです。



## 大野 校区

### 大野小学校の「防災体験学習」

この「防災体験学習」は、令和元年秋、当時の校長先生からの「子どもたちへ防災を学ばせたいのですね」との、地域へのお声かけが起点です。

翌年、児童の発達段階を考慮した学年毎の学習項目を協議し、1年生：交通安全、2年生：通学路の安全確保、3年生：浸水の危険性を理解、4年生：避難所生活に役立つ知識、5年生：土のう積み・簡易担架作り等実地訓練、6年生：応急手当と救急救命・避難所運営に取組みました。

大野校区防災士会員が中心となり、各学級担当教諭・南消防署香川分団・大野消防団等の協力を得ながら、学習資料の作成及び学習指導を行っています。

新型コロナ感染が拡大していた期間も防災体験学習は継続して実施、令和5年度は、家族授業参観も合わせて開催し希望者には起震車体験をしてもらいました。

これからも、学校と地域が一体となった防災体験学習を進めていきます。



## 新塩屋町 地区

### 地域を支える「子ども見守り活動」

新塩屋町地区では、地域の未来を支える「子ども見守り活動」が広がっています。老人クラブのメンバーが中心となり、そろいの帽子とジャンパーを着て、週2回8か所の横断歩道で、グループごとに子どもの下校を見守っています。

この活動は交通安全の見守りだけにとどまらず、子どもと地域住民との交流を通じて、顔見知りを増やし、地域コミュニティの結束を強めています。さらに、犯罪抑止の一環としても期待され、安全安心なまちづくりに繋がっています。毎年小学校児童からはお礼の手紙が寄せられ、温かい絆も育まれています。

地域全体で協力し、未来の担い手である子どもたちを支えるこの活動を続け、より一層豊かな地域づくりを目指しています。



## 男木 地区

### デジタルを活用した防災

男木地区では、令和2年に自治会・自主防災会が中心となって防災マップを作成しました。単位自治会ごとに、崩落などの危険箇所や高齢者世帯・子育て世帯などを大きな模造紙に書きこみ、災害時の助け合いに生かしていくものです。

令和5年には、さらに使いやすい形として手元のスマホで確認できるアプリ「男木島スマートマップ」を開発・準備しました。このアプリは、地図上に水路や車が通れる道、階段、消火栓、防火水槽、消防団の屯所、避難所、AEDの場所、単位自治会地図など地域に特化した情報を入力することができます。住民や行政職員が状況を把握することで、いざという時に必要な情報を知らないといったことが起きないようにするのがねらいです。

防災マップづくりを通して現状を把握して、課題を見つけたり、改善する話し合いをしたりすることで、防災への意識を住民が持ち、自分事として考える機会を今後も増やしていきたいです。



## 栗林 校区

### 避難行動要支援者名簿の見直し

栗林校区内には、栗林小学校・桜町中学校・高松第一高等学校の3つの避難所があり、それらの避難所に紐づけしている方の避難行動要支援者名簿(令和5年度326名)を、毎年1校ずつ見直ししています。

秋の防災訓練時に見直しのための「情報確認調査票」を作成し、施設等への入所、緊急連絡先等の他、避難支援者(安否確認者)を確認しています。

地震災害と豪雨洪水災害時の場合、災害が昼間夜間の場合など、それぞれの時間帯、ケースに応じた支援が必要となり、要配慮者の災害時の避難誘導及び安否確認体制の確立のため、地域でお互いに助け合うという特別な配慮が重要となります。

令和4年度からは、栗林校区で作成した自治会区域地図及び町名検索表を名簿の見直しにも活用できるようにしました。

今後も、実態に即した名簿になるよう見直しを進め、自ら避難することが困難な方も、安心して暮らせる栗林校区を目指していきます。



## 屋島 地区

### 家族みんなで、屋島みんなで防災

屋島地区では、令和2年度に屋島地区にお住まいの方を対象に、地域づくり調査アンケートを実施した結果、自主防災に対する関心度は高いが、危機管理の意識が低いことがわかりました。

災害に対する危機管理意識を高めてもらうにはどうすればよいか、また、災害による被害を最小限に抑えるにはどうすればよいか、それらについて地域の方々で意見を出し合いました。そして、具体的に考えて行動に移していく会議として立ちあげたのが、屋島地区危機管理対策会議(通称、YKK対策会議)です。

今後、この対策会議では、連合自治会等が中心となって、屋島地区の危険な箇所を防災マップに載せる独自の危機管理マニュアル本の制作、屋島地区防災デーの設定等を計画しています。

「自分の命は自分で守る、そのために自分で準備する」等、家族みんなで、屋島みんなで災害に備えて、生活の中に防災がある暮らしを目指していきます。



YKK対策会議メンバー